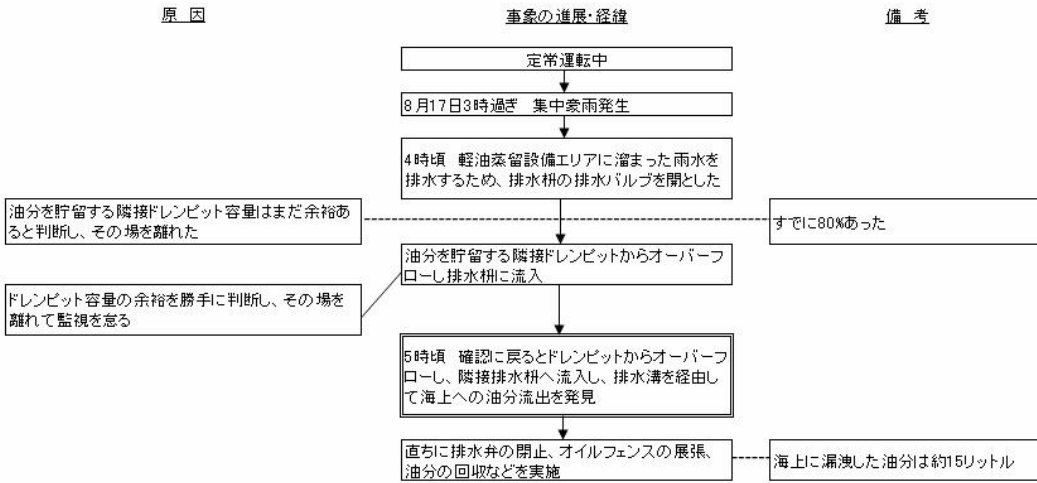




軽油蒸留装置排水処理設備から豪雨によりオーバーフローした油分の海上流出

事象進展図

00282	軽油蒸留装置排水処理設備から豪雨によりオーバーフローした油分の海上流出
発災年月日	2006年8月17日
装置	軽油蒸留装置排水処理設備
運転状況	定常運転中
特徴	集中豪雨後の処理での監視を怠り、ドレンピットがオーバーフローして油分を海上流出させた事例



再発防止策

- 作業標準の遵守徹底
- ドレンピットおよび排水枡本体の改造

安全専門家コメント

排水処理設備はメインのプラントと異なり運転管理や作業指針などの資料作成が疎かになりがちである。排水プラントのトラブルからプラントを停止せざるを得ない事例は比較的多く見られる。排水処理のきめ細かな対応が望まれる。当該作業の作業標準はどうなっていたのか、豪雨などの異常事態での作業標準はどうなっていたのか、作業員が現場を離れる判断はどうなっていたのかなど調査し、改めて作業標準を作成、教育して徹底するようにしたい。他の作業を並行して実施している場合、開め忘れがありうる。排水バルブの開閉は常時立会いで管理することが基本である。

引き金事象発生の原因
<ul style="list-style-type: none"> 排水枡の排水バルブの開 ドレンピットからオーバーフロー

事故の引き金事象
ドレンピットからオーバーフローにより排水枡へ流入し海上に流出

事故に関係した直接・間接要因
<ul style="list-style-type: none"> 《人的要因》 勝手な判断で監視の怠り 《管理・運営要因》 作業の基準・マニュアル類の不備・不十分



軽油蒸留装置排水処理設備から豪雨によりオーバーフローした油分の 海上流出

添付資料・参考文献・キーワード

参考資料（文献など） （消防）

▶ 添付資料

▶ キーワード(>同義語)

🔑 豪雨

🔑 作業基準 > マニュアル

🔑 勝手な判断

🔑 ドレンピット

🔑 排水処理

▶ 関連情報